



2023 年度
第 16 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
矜然としない文化体育観光
部長官賞受賞「議論」



2
20年間
運動してきたが
265万人のための
ジムはない



3
仁川地域の
障害者生活体育への
参加機会が
拡大する



4
国民体育振興公団、
2022年公共機関同伴
成長評価2年連続最優秀
等級獲得



5
北朝鮮
多様な生活体育大会開催
ムード刷新に乗り出して

大韓民国スポーツの
根本的変化を
皆さんと共に
作って行きたいです
体育市民連帯と共に
していただけますか？



2023 体育市民団体連合セミナー

大韓民国スポーツシステムの革新：バスケットボール協会の未来戦略ディビジョンリーグを中心に

- ◇司会 ジョン・ヨンチョル 西江大学教授
- ◇主題発表 ジョン・ジェヨン KBS 局長
- ◇自由討論

- 日時：2023.04.29（土）午後 4 時～
- 場所：ソウル教育大学校電算館 1 階教育工学室
- 主催：文化連帯、スポーツ人権研究所、体育市民連帯
- 主管：体育市民連帯

関心のある方どなたでも参加できます。

01 国際ニュース 2023. 04. 24

釈然としない文化体育観光部長官賞受賞「議論」



過去にも清州市舞踊協会が清州市から支援を受けて進行した補助金事業で役員補助金の分け合いと人脈管理金の宴を行ったという疑惑が提起されたが、今回は全国舞踊コンテスト審査の公正性問題がふくらんだ。

清州市が主催し(社)大韓舞踊協会清州市支部が主管した「第 18 回清州全国舞踊コンテスト」現代舞踊部門で漢陽大学校 ERICA キャンパス学生たちが大挙参加したにもかかわらず主催側は「審査回避制」を理由にこの大学の L 教授を審査委員として参加させ文化体育観光部長官賞である大賞まで占めた。

匿名の情報提供者は「審査委員長を含む各ジャンル別に 3 人ずつ全体審査委員が 10 人で、現代舞踊部門から弟子たちが大挙出場した L 教授が審査回避をしたというが、残りの 2 人の審査委員が L 教授と親交がないとは見られない関係で公正な審査がなされない構造」とし「上級機関である忠北道舞踊協会と大韓舞踊協会徹底した監査など再発防止装置を用意しなければならない」と指摘した。

これに対して清州市舞踊協会のソン・ミンジュ会長は「昨年も十数チームが出ており、今年もそうだし一般部がほとんど出ていないので（大学生たちが）好むもの」とし「(審査) 回避制度があるため問題ないとはいえ、審査の公正性をめぐる議論が起きないよう審査委員委嘱にさらに気を使う」と釈明した。

忠清北道舞踊協会のパク・ジョンミ会長は「残念だ。 昨日起こったことで困ってはいる。 --どうしてこんなことが起きたのか。

忌避剤があることはあるが」とし「忠北道舞踊協会ですましく指導監督できなくて申し訳ない。 公正な審査ができるようにする」と吐露した。

これに先立って[国際ニュース通信]は「清州市舞踊協会補助金事業モラルハザード……人脈管理金の宴 (2018年12月15日付)」題下の記事で清州市舞踊協会は毎年大会ごとに審査費として1人当たり50万ウォンずつ600万ウォン以上を執行したが、これら審査委員の多くは市・道協会役員かノ・ヒョンシク会長の「親衛隊(?)」構築に必要な舞踊界人脈で満たされたと報道した。

清州市のキム・ミジャ議員が公開した2014年から2017年まで清州市舞踊協会「清州全国舞踊コンテスト」精算資料によれば参加費込み者負担を除いた純粋補助金2000万ウォンのうち半分以上が研究・企画運営・審査費として使われた。

これに対してキム議員は「清州市舞踊協会精算資料を確認した結果、全国規模の舞踊競演大会を主催・主管しながら公正で透明に行わなければならない行事であるにもかかわらず協会役員など執行部が大挙審査に参加した」として「全体予算の50%以上を自身と利害関係がある人物で審査費と研究費および企画運営費名目の人件費として執行したことは適切でない」と指摘した。

出典：<https://www.gukjenews.com/news/articleView.html?idxno=2704363>

02 ハンギョレ 2023. 04. 20

20年間運動してきたが、265万人のためのジムはない



「会員様は目が不自由な状況ですので、事故になりそうなので払い戻しを進めようと思います」

先月28日夕方、視聴覚障害者のパク・グァンチャン(36)氏は荒唐無稽な携帯メールを受け取った。この日の昼、新しく登録したソウル江西区のあるジム側から「ジムは会員様に危険な状況が生じかねないところ」と払い戻しすると通知したためだ。

パク氏は「20年近く他のジムに通っており、一人で十分運動できる。ジムの危険な環境は非障害者も障害者も同じように体験できる」と反論したが、ジム側は受け入れなかった。「保護者同伴」または契約書に「障害によって事故が起きた場合、ジムに責任を問わない」という免責条項を書いてこそ登録を受けることができるという立場だった。結局、パクさんは他のジムを探しに出かけざるを得なかった。

最近「オ・ハ・ウン」(今日一日運動)と言って毎日運動に励む人が多いが、パクさんのようにまだ265万3000人余り(昨年末基準)の登録障害者は運動するための場所さえ見つけられずにいる。専門家たちは障害者生活体育活性化のために生活体育施設の中の障害者差別認識を改善し、障害者が接近可能な体育施設を増やさなければならないと話す。

17日、<ハンギョレ>がパク氏と共に江西区一帯の公共体育施設2ヶ所と私設ジム2ヶ所に通ってみたところ、パク氏が簡単に登録できる所はなかった。区立公共体育施設である体育センターは「会員様が『本当に大丈夫』と言えば、私たちにも免責される部分が生じる」とし「補助人が一緒に来ればより確実に登録が可能だ」と話した。それと共に「障害者を補助できる人材はいない」と話した。

私設ジムのある職員はパク氏の事情を聞いて「事故危険のために登録できないようだ」と言い切った。以後、パク氏が十分に運動できると言う、ようやく保護者同伴や免責条項を入れなければならないと要求した。パク氏は「非障害者が運動期間や金額を相談する時、障害者は契約書に免責規定を書かなければならないという要求から聞く」と話した。

他のタイプの障害者もパク氏と似たようなことを数多く経験している。25歳の発達障害者の娘と一緒に暮らすマ・ミョンジュ(51)氏は、新型コロナウイルス感染症以後、自宅近くの公共体育施設に唯一存在した障害者水泳プログラムが消えた後、娘が自由にできる運動がほとんどないと話した。

マ氏は「公共体育施設にいくら苦情を入れても新しいプログラムを作ってくれなくて大変だ」と話した。車椅子を利用する脳病変障害者のユ・ジヌ(28)ノドゥル障害者自立生活センター活動家は「2021年9月に運動を始めようとジム10ヶ所で相談を受けたが、そのうち1ヶ所だけが利用可能だった」と話した。

このような現実には障害者たちは運動したい欲求があっても気軽に乗り出すことが難しい。19日、文化体育観光部の「2022障害者生活体育調査」と「2022国民生活体育調査」によると、この1年間で一度でも運動をした非障害者は88.8%だったが、障害者は51.2%にとどまった。

障害者の41.9%は今後運動に参加する意向があったが、「運動を手伝ってくれる人がいないから」

(11.4%)、「運動プログラムが不足しているから」(7%)、「体育施設が不足しているから」(4.3%)嫌がっていた。障害者権益問題研究所のキム・ガンウォン人権政策局長は「障害者は健康問題もあるだろうが、行ける体育施設がないため運動を嫌う場合が多い。障害者専用体育施設は非常に不足しており、私設体育施設では出入り拒否に遭うなど偏見が存在する」と話した。

障害者の運動意欲を支える生活体育プログラムや施設拡充などの速度は遅いばかりだ。全国に障害者専用体育施設は73ヶ所に過ぎない。生活密着型(障害者型)国民体育センターである「バンダビ体育センター」は現在、全国5ヶ所(ソウル1ヶ所)しか運営していない。文体部はこのセンターを89ヶ所まで増やすことが確定したという説明だが、国費に地方費をマッチングする事業なので、いつ完工するかは分からない。今年、文体部の障害者生活体育振興および支援事業予算は990億8500万ウォンで、文体部体育部門予算(1兆6398億ウォン)の約6%に過ぎない。

韓国スポーツ政策科学院のキム・グォンイル責任研究員は「障害者が不便なく使える体育施設はすべての国民が楽に使えるだけに、既存体育施設も障害者が十分に接近できるように新しく建てたり改修しなければならない」とし「直ちに費用がかかるだろうが、障害者の医療費と孤立感解消などの費用を計算してみればはるかに少ないだろう」と話した。

出典：https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1088609.html

03 国民日報 2023.04.19

仁川地域の障害者生活体育への参加機会が拡大する



仁川市が障害者の生活体育参加機会を拡大する。

仁川市は19日、文化体育観光部の生活密着型国民体育センター事業2次公募に選定され、バンダビ体育センター建設のための国費40億ウォンを確保したと発表した。

障害者型生活体育施設であるバンダビ体育センターは2026年までに国費など120億ウォンが投入され地下1階～地上2階、全体面積3863㎡規模で仁川障害者国民体育センター近隣に建設される。

バンダビ体育センター1階には障害類型・実力別に利用可能なプールとジム、運動処方室が入る。2階には観覧席を備えた多目的体育館が造成される。

市はバンダビ体育センターが建設されれば、現在運営中の仁川障害者国民体育センターと連携・統合運営する計画だ。特に来年2月に開館予定の西北圏障害者国民体育センターと共に弥鄒忽区、南洞区、富平区、西区など6ヶ郡・区の障害者体育需要を充足できると期待している。現在、仁川障害者の約86%はこれらの郡・区に住んでいる。

先月、仁川文鶴競技場でオープンした障害者専用仮想現実スポーツ体験センターの場合は、拡張現実(AR)と仮想現実(VR)など第4次産業技術を基盤とし、全国最大規模の施設を土台に運営を開始した。

市はまた、年末までに長水配水池パークゴルフ場と障害者体育館の視覚障害者サッカー場を整備する予定だ。

来月には富平熱井戸競技場、中区と弥鄒忽区の国民体育センターで障害者生活体育プログラムを運営する。

特殊学校・学級在学学生を対象にはバドミントン、卓球、ボウリングなどのスポーツクラブを育成する。

この他にも障害者レジャースポーツ家族キャンプ、仁川市障害者総合生活体育大会など障害者生活体育関連行事と大会を開催する方針だ。

市の金チュンジン文化体育観光局長は「仁川市民なら誰でも公共体育施設を拠点に体育活動に参加できる機会を着実に拡大していく」と述べた。

出典：<https://news.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0018175670&code=61121111&cp=nv>

04 スポーツ朝鮮 2023. 04. 25

国民体育振興公団、2022年公共機関同伴成長評価2年連続最優秀等級獲得



国民体育振興公団が中小ベンチャー企業部が主管する2022年公共機関同伴成長評価で「最優秀」等級を獲得した。

中小企業同伴成長評価は中小企業、小商工人、農漁村地域と同伴成長および共生協力に向けた公共機関の努力を評価する制度だ。同伴成長推進実績と利害関係者の体感度調査結果を合算して5つの等級（最優秀、優秀、良好、普通、改善が必要）で評価する。

今回の評価は計134の公共機関(公企業型36、準政府・その他型98)を対象にした。中小企業販路支援、創業生態系造成など計51項目に対して評価を進めた。公団は地域社会・経済活性化、公正取引文化拡散、スポーツ中小企業跳躍支援および社会的企業持続可能成長支援の4大戦略方向と10ヶ細部課題を推進した結果が認められた。2021年に2年連続で最高等級を達成した。

詳細に見ると、スポーツ企業対象の歴代最大融資支援(2,289億ウォン)と成長段階別オーダーメイド支援で300余りのスポーツ中小企業を育成した。これにより「2022年同伴成長有功中小企業部長官表彰」を受けもした。ESG経営拡散のための成果共有課題新設、協力企業の福利増進支援拡大および災難地域住民のための被害復旧寄付金支援など国家的危機状況に迅速に対処し、公共機関の社会的責任を実践するために努力した点が肯定評価された。

チョ・ヒョンジェ公団理事長は「体育界を代表する公共機関として2年連続同伴成長最優秀等級を獲得したことは意味が大きい。今後も公団は持続的な共生協力で同伴成長のための支援を惜しまない」と明らかにした。

出典：

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202304260100202200024959&servicedate=20230425>

05 KBS ニュース 2023.04.24

北朝鮮、多様な生活体育大会開催・・・ムード刷新に乗り出して



北朝鮮が多様な生活体育（大衆体育）大会を開催し、活性化に積極的に乗り出しています。

朝鮮中央通信はきょう(24日)、「全国都対抗群衆体育大会-2023が平壤で始まった」と報じました。

平壤をはじめとする各道（直轄市）から選抜された選手が参加した今回の大会では、テコンドー聖地館、青春通りバスケット競技場、東平壤競技場などで「テコンドー」「綱引き」「11メートルPK戦」などの種目競技が行われます。

今月3日から6日まで委員会・省・中央機関の労働者(幹部)800人余りが参加した卓球競技が平壤体育館で行われ、18日には病院職員をはじめとする保健部門幹部が参加する体育競技大会が開幕しました。

先月も「中央機関一軍体育競技大会」と「全国農業勤労者バレーボール競技」が相次いで行われました。金正恩國務委員長が娘のジュエを伴って今年2月と今月観覧した「内閣-国防省体育競技試合」も両機関の職員がサッカーと綱引き種目で実力を競った生活体育形式でした。

また労働党機関紙、労働新聞は20日付で、「すべての単位の一軍は体育事業が持つ意義と重要性を肝に銘じ、体育を大衆化、生活化するための事業を方法論あるように展開していくことで、党決定貫徹に向けた今日の闘争で奇跡と革新を創造するのに積極的に貢献しなければならない」と促した。

労働新聞は1月「体育は人生の喜悦とロマンを抱かせ革命熱、闘争熱を倍加してくれる」とし、「特に年を取るほど大衆体育活動に積極的に参加すれば青春の活力にあふれ健康な体で国のためにより多くのことができる」と強調したりもしました。

北朝鮮が生活体育を督励しているのは、これまで新型コロナウイルス感染症で低迷していた社会の雰囲気を一変し、対内結束を通じて各種事業成果を高める狙いがあると分析されます。

出典：<https://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=7658921&ref=A>

06 週間スポーツニュース

国民体育振興公団、スポーツ週間記念「再び楽しむ」開催

<https://www.starnewskorea.com/stview.php?no=2023042313324422877>

国民体育振興公団、創立 34 周年記念新ビジョン宣言

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230424063900007?input=1195m>

体育記者連盟、「大韓民国ハンドボールの現在と未来」セミナー開催

<https://www.news1.kr/articles/5025685>

釜山市老人専用体育施設「複合ヒーリングパーク」の建設を本格化

<http://www.kookje.co.kr/news2011/asp/newsbody.asp?code=0300&key=20230424.99099007155>

「2023 全国生活体育大祭典」が今月 27 日、亀尾で開幕

<http://news.heraldcorp.com/view.php?ud=20230424000479>

城南で 27～30 日、第 13 回京畿道障害者体育大会

https://newsis.com/view/?id=NISX20230425_0002279044&cID=14001&pID=14000

大韓体育会、2023 年第 2 回国際大会オブザーバープログラム開催

<https://www.starnewskorea.com/stview.php?no=2023042414161732370>

釜山乙淑島に老人専用体育施設が建設される

<https://www.segye.com/newsView/20230424507352?OutUrl=naver>

「バレーボールスターに聞く」… 晋州市体育会 28 日招待講演会

<https://www.news1.kr/articles/5025384>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>